

手洗いの勉強、再び

本欄「アウルのひ・み・つ」で、手洗い講習会の様子をご紹介したのがちょうど2年前。アウルでは毎年冬を迎える前に、インフルエンザやノロウイルスといった感染症



予防について入居者様が自由参加で学べる機会を設けており、2018年秋には感染予防の基礎となる手洗いについて学びました。



例年以上に手洗いが励行されたコロナ禍の2020年。改めて正しい手洗いの方法を学び直そうと、10月1日(木)に手洗い勉強会を開催しました。2年前と同じく替え歌を

活用し、歌に合わせて洗うことで、指先やつめの間、手首などの洗い残しを防ぎ、洗浄の時間も十分確保できます。今回は「きらきら星」でしたが、今回の選曲は「森のくまさん」。歌声を響かせながら正しい手洗いを実践的に学びました。



▲パーティスタイルのリリこ(左)とここな

スタッフ リレーエッセー

犬が大好き

私は、小さいころから犬が大好きです。飼っていた犬と犬小屋と一緒に寝て、親によく叱られていました。進路を決める際、トリマーと介護福祉士とでものごとく悩みました。祖父を亡くしたことをきっかけに介護の道に進みましたが、犬がいる環境で働きたいという夢はずっと捨てられずいました。



介護員 浄土 侑美

職場を変える時、アウルコートを紹介してもらいました。施設内がとてもきれいで、春夏秋冬を大事にされている、公式サイトに載っている入居者様が皆さん笑顔と、魅力はいろいろありましたが、なによりいやし課のここなとリリこの存在が大きく、アウルコートで働くことを決めました。働いて半年が経ちましたが、夢だった犬のいる環境で働けてとても幸せです。出勤するたびにここなとリリこに癒されています。

●介護付有料老人ホーム(一般型特定施設入居者生活介護)

アウルコート真駒内

〒005-0016 札幌市南区真駒内南町4丁目5-3
TEL.011-588-1122 FAX.011-588-1133
入居相談受付中 ☎0120-916-768

- 地下鉄南北線「真駒内」駅下車
- じょうてつバス「真駒内駅前」停で真駒内線に乗車(約5分)「南町4丁目」停下車(徒歩約4分)

アウルコート真駒内 <http://www.owlcourt.jp>



ふくろうの家 その54 2021年1月 だより

●発行/株式会社私の青い空
●編集/アウルコート真駒内広報室 〒005-0016 札幌市南区真駒内南町4丁目5-3 ☎011-588-1122



令和3年

代表取締役 武田 治信

新しい年、令和3年、2021年を迎えました。今年、21世紀に日本で生まれた人が成人を迎える最初の年となります。1月にはアメリカ大統領が、バラク・オバマ政権で第47代副大統領を務めたジョー・バイデンになり、就任式が行われます。安倍内閣の取り組み継承を強調する菅首相との相性は如何に。

さて、昨年を振り返ると、「コロナ」に明け暮れ、私たちの生活スタイルが大きく変わった一年でもありました。年始早々、新型コロナウイルスが世界中に広がり、日本でも感染者が急増して緊急事態宣言が出され、マスク不足の混乱の中で配布されたアベノマスクが流行語になりました。高齢者施設でのクラスターも続発し、未だに戦々恐々の日々が続いています。

新語・流行語大賞の2020年のノミネートでは、

コロナに関連する言葉が並ぶ中、「GoToキャンペーン」「ソロキャンプ」、ワークとバケーションを組み合わせた造語「ワーケーション」といった旅行に絡んだ言葉がノミネートされました。

旅といえば頭に浮かぶ芭蕉の名句に、「旅に病んで夢は枯野をかけ廻る」があります。外出のままならぬ病床にあっても旅と俳諧を希求する絶唱であり、コロナ禍の今、改めて旅の価値に思いを致します。

締め、今年の干支にちなんだ丑年の話を。先を急がず目の前のことを着実に進めることが成功につながっていくといわれ、「牛の歩みも千里」のごとく努力を怠らなければ、成果が得られるとのこと。今年、平穏無事でゆったりできる良い年にしたいものです。

敬老会で交流

毎年9月は敬老の日に近い日程で敬老会を行っています。2013年からは保育所「遊・Wing」の子どもたちが来訪。地域交流会も兼ね、入居者様は毎年子どもたちと会える日を心待ちにしていっぱいします。

コロナ禍にある2020年の敬老会は、子どもたちを招き入れることがかなわず、皆さん残念がるだろうと職員が心配していたところ、「遊・Wing」から元気なビデオレターと手作りのプレゼントが届きました。

9月16日(水)の敬老会では、入居者様のピアノ伴奏による「見上げてごらん夜の星を」の合唱や、職員による「赤とんぼ」のハーモニカ演奏に続いて、このビデオレターを鑑賞。子どもたちからのメッセージや保育所での

映像、一人ひとりに配られたプレゼントは入居者様の胸を打ち、多くの方が涙ぐまれていました。

ご長寿祝いの記念品贈呈でお開きとなった敬老会。直接会うことはできなくても、心温まる交流のひとつとなりました。



▲会場のレストランに設けたスクリーンに、歌詞やビデオレターを映写



▲いつもと違うランチにビールで乾杯



グルメな出前

秋はグルメな外出も楽しい季節です。食欲の秋と外食の雰囲気両方を満喫できるように、9月に参加自由な「テイクアウトの日」を企画。うなぎ・握り寿司・とんかつ・ステーキからご入居者様ご自身が選んだテイクアウトのランチを、8日(火)～18日(金)の各日でグループ

ごとに召し上がっていただきました。

同じ好物でつながったグループは新鮮な顔合わせが多く、入居者様ご持参のビールで皆さんが乾杯されたりと和気あいあい。職員厳選の名店のランチを通じて、入居者様同士の交流も深まりました。



交流と味覚を楽しんだ秋行事

会わずにつながる、行かずに味わう



アウルの四季彩々日記



●10/10(土)

今年の大運動会は白組優勝

毎年熱戦を繰り広げ、楽しんでいるうちに自然と体も動く、文字通りの大運動会。2020年は玉入れ、釣りゲーム、大玉リレーで入居者様が点数を競い、職員はゴーゴーダンスで応援合戦。優勝カップは白組に輝きました。



●10/20(火)

塩辛バターの粉ふきいも

皮むきの有志を募り、粉ふきいもづくりに挑戦しました。年齢的にピーラーより包丁のほうが得意という方が多数。塩辛とバターの味わいは、道外からの入居者様にも「初めてだけどおいしい」と好評で、皆さんが笑顔でした。

●10/21(水)

期待に応えたサンマの味

毎年秋の風物詩となっているサンマの炭火焼き。恒例メニューに入居者様の期待は大きく、不漁で小ぶりの今期は開催が危ぶまれましたが、質の良い冷凍サンマを見つけてご提供。「今年もおいしかった」の声をいただきました。



●11/4(水)

スライドで紅葉を満喫

例年は外出行事で楽しんでいた市内の紅葉。今期は「紅葉喫茶」と銘打って、お茶をしながらスライドで鑑賞しました。紅葉の写真は職員が近隣を巡って撮影。おなじみの場所がいくつも登場し、リモート観楓小旅行となりました。

